教科 【 理科 】

■授業革新推進に向けての具体的な方策

<p>視点1</p> <p>板橋区授業スタンダードの徹底、及び板橋区授業スタンダードSの取組</p>	<p>○小学校の学びの連続性を意識し、「板橋区授業スタンダード」に基づいた「分かる・できる・楽しい」授業を行い、基礎的な知識や技能の習得、課題解決に必要な思考力・判断力・表現力の育成、主体的に学ぶ合う態度の育成を図る。</p> <p>○めあてや見通しの提示、振り返りの実施等の授業の流れの中で、課題解決的な学習、発表や小単元、実験ごとに100字程度の文章での振り返りを行う。</p> <p>○生徒自身が自然現象の検証や疑問等を解決するための目標や計画を立て、生徒自身のペースで実験・観察・調査し、その成果を他者との共有する活動を取り入れる。また学習の振り返りを行いながら自己調整力を身に付ける。</p>
<p>視点2</p> <p>読み解く力の育成</p>	<p>○「主体的・対話的で深い学び」を実現するために、一人一台端末を活用し、興味関心もてる授業、明確な発問や指示、気付きのある授業、活動や発表が多い授業、課題解決的な学習、200字程度の文章で考えをまとめる活動、個人－グループ－個人で考えを深める授業を行う。</p> <p>○教科書で学ばせる視点を明示し、Input-Think-Outputを意識した授業展開をする。</p> <p>○「個人－グループ－個人」で、考えを深め、文章で表現できるように指導の充実を図る。</p> <p>○文章や図表に取り組むことで、必要な情報を正確に取り出し、理解・解釈・推論して解決したり、表現する力を育む。</p>
<p>視点3</p> <p>総合的な学習の時間との連携</p>	<p>○生徒自身が課題設定及び情報収集ができる内容に関しては、生徒一人一人調べさせ、整理分析・できることを考え、まとめ発表を行わせることで、総合的な学習の時間につなげられるようにする。</p> <p>○一人一台端末を活用して、実験のデータをまとめ、考え方を共有したり、データをスライドやスプレッドシートにまとめていけるようにする。</p>